

個別事業費	7,000 千円
交付金額	5,250 千円

地域の実情と課題

電話や窓口での相談が日常的に困難な方達で相談につながっていないケースがいまだ数多く存在している可能性がある中、SNSやメール、オンライン会議システムなど相談できるツールを増やすことで、困りごとやその背景に寄り添い、必要な支援へとつなげる。

事業の特徴

- ・相談できるツールを増やすことで、困りごとや個々の背景に寄り添いきめ細やかな支援を行いながら、必要な支援へとつなげる。
- ・心とからだを休めるためのレスパイト事業を活用することで、女性がエンパワメントし次のステップへ進むことができるよう支援を行う。

事業の効果

・他の行政機関や団体と連携することで実施した個別相談会【2回開催】では、事業主が会社説明会を開くなど、会場に訪れた方がその場で複数の機関へ相談できる内容に参加者より好評を得ることができた。

・生理用品や、女性の体についての勉強会や情報発信を行い、話のきっかけづくりを行うことで、自身の気付きや情報交換を行える居場所として活用ができた。

・拠点の開所時間を工夫するなど仕事帰りや学生の利用がしやすい環境づくりを行った。

目的・目標

- ・女性同士が互いに情報交換したり支えあうことのできるピアサポートを開催。【目標】110件【相談実績】105件
- ・市内NPO法人と連携し、困難を抱えてはいるが、緊急性はなくシェルター入所の枠組みにあてはまらない女性を対象とした、心とからだを休め、自己決定できる力の回復を図る居場所を提供し、滞在期間中に居住支援や生活保護申請の手続きなどを進める等次のステップへ進むための支援を行う。(レスパイト事業)【目標】10日【実績】80泊

連携団体

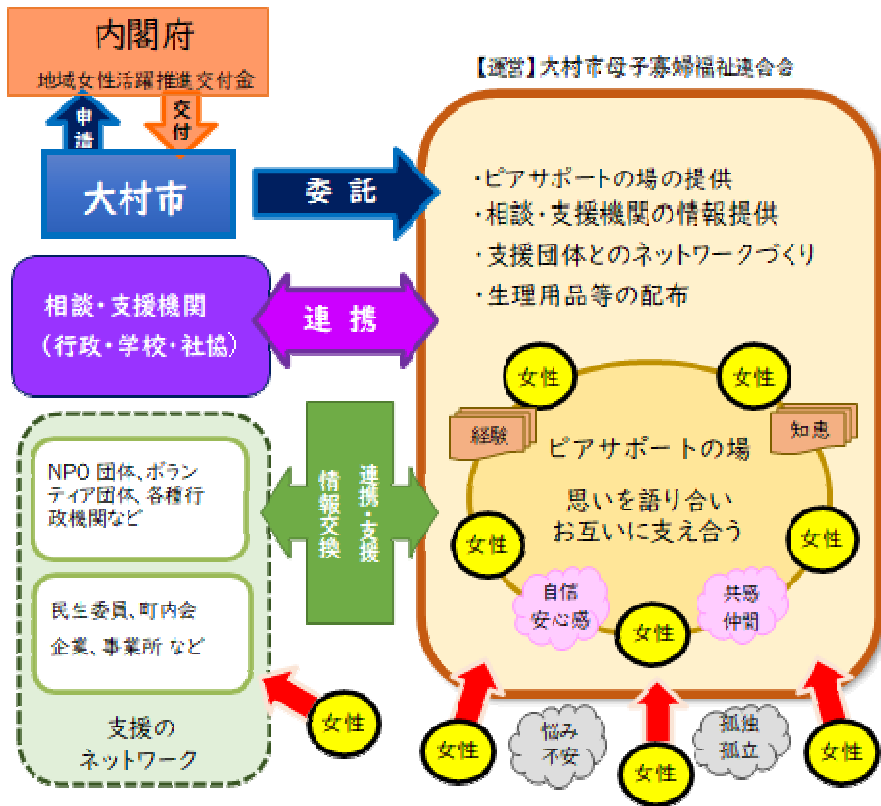
- ・就労に関すること・・・ハローワーク
- ・母子に関連すること・・・こども家庭課
- ・健康に関すること・・・国保けんこう課
- ・生活に関すること・・・社会福祉協議会

ほか、県こども・女性・障害者支援センターや県内男女共同参画推進センター、県内市町男女共同参画部局、本事業に関する情報共有や情報発信を行い、必要な支援等について協力を求める。

今後の課題

女性が自らをエンパワメントし次のステップへ進むことができる環境や体制づくりの必要性を周知していくこと。

事業の概要



相談会の様子



拠点の場所のみ
ではなく公民館を
利用して出張相
談窓口の開設や
開所の時間を変
更するなど立ち寄
りやすい居場所づ
くりを心掛けた

